

みなみあそ観光局便り

唯一無二のアドベンチャートレッキング！「免の石」ロングコースがこの春開放へ

崖の間に大きな岩が挟まって宙に浮いているようですが「落ちない石」と話題になり、合格祈願などで人気となった「免の石」。熊本地震で石が落ちた後、空洞となった洞窟から阿蘇五岳を見ると、そのシルエットが「ネコに見える」と再び人気になりました。

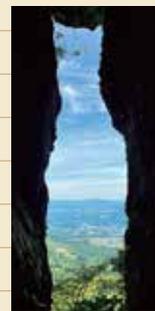
今は“招き猫洞窟”とよばれる免の石。牧野の中にあり、険しい道のりのため、ガイド付きツアーでのみ登山が可能となっていました。令和3年4月に洞窟までのルート（往復コース）の安全対策を実施し、入山料を徴収する形で一般開放。同年には入山者が1,000人を超え、「行ってみたい九州の絶景」にランクインするなど大きな話題に。

可能な限り原野を維持しているため、大雨の度に修繕が必要となるなど管理が困難なコースですが、みなみあそ観光局では地元の人と「免の石トレッキング」をより安全に自然を楽しめるアクティビティとして成長させるべく連携を図ってきました。

そしてこの春、“周回コース”と呼ばれるロングコースの一般開放が決定！ガイドツアーでは4時間ほどかけて歩くルートで、招き猫洞窟のほか、圧巻の眺望を体感する天狗岩、迫力満点の奇岩・女風穴おんなふうけなど見どころ満載のコースです。

登山口である鳥の小塚公園には自動販売機が設置されており、入山料のお支払いが可能になったほか、オリジナルのグッズも販売中。3月からはこちらに「免の石オリジナル 御朱印」も加わり、トレッキングだけではなく立ち寄り観光スポットとしてPRを図るべく現在、案内看板やリーフレットなどの制作も進めています。

周回コースのオープン日などは観光局HP「みなみあそinfo」でお知らせいたします。春の足音が聞こえ始めるこの季節、皆さんもぜひ一度「免の石トレッキング」にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



〈問い合わせ〉(一社) みなみあそ観光局 TEL0967 (67) 2222

南阿蘇村農業みらい公社通信 Vol.31

少しずつ日差しに春らしさを感じるようになり、今年の作付け計画を考えられている人も多いと思います。昨年のソバの作柄は8月末の台風による雨の湿害で10aあたりの平均収量は63kg程度でした。ソバを栽培される人は、排水対策を特にお願いします。サブソイラの貸出しも可能ですので、貸出しを希望される人は農業公社までご連絡ください。

また、ここ数年でシカによるソバの食害も増えていま

す。イノシシ用の電気柵では高さが足りずシカには効果がありませんので、シカが出る圃場でソバを栽培される場合は、2m程度の高い電気柵の設置をお願いします。

ソバの販売も順調に進んでおり、令和5年産ソバの最終価格は22.5kg入り1袋あたり5,000円弱の価格で精算させていただきました。今後もより高値での販売を目指して営業を進めてまいりますので、引き続き高品質ソバの生産をお願いします。

